

11 吹医発第 086 号
平成 23 年 8 月 26 日

協力医療機関各位

吹田市医師会
会長 四宮 眞男
吹田市立保健センター
所長 岸 敏子

吹田市子宮頸がん予防ワクチン「ガーダシル」追加について

平素は、格別の御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

子宮頸がん予防ワクチン「**ガーダシル**」(MSD株式会社)が、本日(8月26日)から販売されます。子宮頸がん予防ワクチン接種の助成対象としては、

9 月15 日 (木) より追加されることになりました。

医師会からの支払単価はガーダシルを使用されても同額です。なお、9月14日(水)以前にガーダシルを接種した場合は、助成の対象とはなりませんの
でご注意ください。

子宮頸がん予防ワクチン接種予診票の使用ワクチン名に、サーバリックスと印字しておりますが、ガーダシル使用の際は修正または、シール貼付してご使用ください。詳細については2枚目のQ&Aをご参照ください。

(感染症・予防接種担当：西野)

子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業に関するQ&A（自治体向け）

（平成23年8月25日）

●7月1日に新たに承認された子宮頸がん予防ワクチンについて

	質問内容	回答
1	・7月1日に新たに承認された子宮頸がん予防ワクチン（ガーダシル）は、事業の対象となりますか。	・9月15日より事業の対象とすることができます。
2	・現行の基準単価に変動はありますか。	・既報の基準単価のとおりとします。
3	・サーバリックスとガーダシルに接種スケジュールの違いはありますか。	・サーバリックスは初回接種から1ヶ月後、6ヶ月後に、ガーダシルは初回接種から2ヶ月後、6ヶ月後に接種します。
4	・今回対象となるガーダシルはどのくらいの対象者が接種できますか。	・ワクチン製造業者からは、年度内に約300万本供給される予定と聞いております。ガーダシルとサーバリックスは、子宮頸がん予防について、同様に効果が認められていますので、新規に接種を開始する対象者に対しては、入手可能なワクチンを接種してください。
5	・1回目又は1, 2回目を一剤で接種した後に、他剤を接種することはできますか。	・ガーダシルの添付文書に、「本剤と他のHPVワクチンの互換性に関する安全性、免疫原性、有効性のデータはない」と記載されていることから、一剤を接種したあとに他剤を接種することはできません。
6	・サーバリックスとガーダシルの効能等の違いはありますか。	HPVは子宮頸がんなどの原因となるHPV16、18型などの「高リスク型」と、尖圭コンジローマ等の原因となるHPV6、11型などの「低リスク型」に分類されています。サーバリックス、ガーダシルのいずれについても、子宮がんなどの原因となるHPV16、18型の「高リスク型」に起因する子宮頸がんなどの予防効果が認められていますが、効果について、直接比較したデータはありません。
7	・市販後の安全性の調査は行われますか。	・ガーダシル発売以降、薬事法による副反応報告に加え、製造販売業者が1000例3000接種について、健康被害の発生状況等について調査する計画としております。 ・また、これまでのサーバリックス同様、接種事業の実施要領に基づき、副反応報告については、厚労省へ直接FAXにより報告いただくよう医療機関に求めることとなっています。
8	・新しいワクチンの流通状況によっては、年度内に接種が完了しないことが想定されますが、基金の延長等の予定はありますか。	・基金の延長に関しては、現在その方向で検討中です。